

委託事業実施内容報告書
平成 27 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム（B）】

実施内容報告書

受託団体名：NPO 法人多文化共生リソースセンター東海

1. 事業名称

「あいち日本語学習支援プラットフォーム」構築プロジェクト

2. 事業の目的

本事業では、コーディネーター的な立場で愛知県内の地域日本語教室の運営に携わる者が中心となってネットワークを形成し、教室活動の現状と課題を整理、および今後の継続発展に向けて主体的に解決策を模索・実施し続け、愛知県全体の地域日本語学習支援に寄与することを目的とする。

3. 事業内容の概要

①地域日本語教育コーディネーター会議の開催

平成 22～26 年度に文化庁が開催した「地域日本語教育コーディネーター研修」の修了者・受講者 8 名を中心に構成し、愛知県内の地域日本語学習支援の課題を整理し、解決に資する情報やツールの収集・開発等を行う。

②外国人散在地域でのキャラバン型日本語学習支援の実施

県内でも比較的外国人が多いものの各市域内で散在しており、また担い手となる支援団体が少ないことから日本語学習機会の提供が困難な西三河地域（知立市・刈谷市・安城市）において、子育てをテーマにキャラバン形式での日本語教育を実施する。

③日本語教室運営支援ツールの開発

既存の情報に加え①および②で得られた情報等をもとに支援ツールを開発し、それらを当団体が平成 25, 26 年度に行った日本語教育事業の一環で開設する「あいち日本語学習支援ポータルサイト」（H27. 4 月公開予定）を通じて、広く共有していく。

4. 事業の実施体制について

①ネットワーク会議参加

愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室、公益財団法人愛知県国際交流協会、名古屋市市長室国際交流課、公益財団法人名古屋国際センター、株式会社三恵コンサルティング（H25 年度愛知県『地域における日本語教育のあり方』作成事業受託団体）、特定非営利活動法人トルシーダ（H26 年度愛知県『地域日本語教室ハンドブック』作成事業受託団体）、文化庁地域日本語教育コーディネーター修了者・受講者

②教室活動の広報・運営協力

多文化西三河ネットワーク

5. 運営委員会の開催について

【運営委員】

1	神谷輝	愛知県多文化共生推進室
2	川崎直子	愛知産業大学短期大学／かにえこども日本語の会
3	衣川隆生	名古屋大学国際言語センター
4	米勢治子	東海日本語ネットワーク
5	土井佳彦	NPO 法人多文化共生リソースセンター東海

【概要】

回	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成 27 年 4 月 30 日(木) 15:00-17:40	2.5 時間	YWCA ビル 6F	神谷輝、川崎直子、衣川隆生、米勢治子、土井佳彦、河村楨子	1. 平成 27 年度事業概要 2. 今後のスケジュール
2	平成 28 年 1 月 26 日(火) 10:00-12:30	2.5 時間	YWCA ビル 6F	神谷輝、川崎直子、衣川隆生、米勢治子、土井佳彦、河村楨子	1. 平成 27 年度事業進捗状況 2. 平成 28 年度事業計画(案) 3. 次回予定
3	平成 28 年 3 月 8 日(火) 10:00-12:40	2.5 時間	YWCA ビル 6F	神谷輝、川崎直子、衣川隆生、米勢治子、土井佳彦	1. 平成 27 年度事業最終報告 2. 平成 28 年度事業計画(案)

6. 取組についての報告

取組1: 地域日本語教育コーディネーター会議

(1) 体制整備に向けた取組の目標

平成 22～26 年度の文化庁「地域日本語教育コーディネーター研修」修了者・受講者8名を中心に、愛知県内の地域日本語学習支援に関する課題を整理し、改善策(各種情報、支援ツールの提供等含む)を模索・開発する。

(2) 取組内容

第1回 現状と課題の共有①

- ・愛知県内の外国人状況(近年の動向と今後の予測)
- ・文化庁国語分科会日本語教育小委員会における審議内容「日本語教育の充実に向けた体制整備と『生活者としての外国人』に対する日本語教育の内容等の検討」
- ・『多文化共生社会に向けた地域における日本語教育推進のあり方』

第2回 現状と課題の共有②

- ・『地域日本語教室ハンドブック』
- ・当団体 H25,26 年度実施調査結果等

第3～6回 課題の整理と改善策の検討

- ・地域別、目的別、対象別等の課題に対する対応策の検討
- ・有用な社会資源の収集・整理・発信

第7回 まとめ

- ・課題に応じた解決策の提案

(3) 対象者

平成 22～26 年度の文化庁「地域日本語教育コーディネーター研修」修了者・受講者8名、愛知県・愛知県国

際交流協会・名古屋市・名古屋国際センターの各日本語教育事業担当者等

(4) 参加者の総数 18 人※延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 0 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
0	0	0	0	0	0	0	0	0	18

※その他の国籍と人数:

(5) 開催時間数(回数)

・ 17.5 時間 (2.5 時間 × 全 7 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	出席者
1	平成 27 年 6 月 25 日(木) 15:00-17:30	2.5 時間	ウィルあい ち小会議室	18 人	現状共有①	1. 趣旨説明・事業説明 2. 自己紹介 3. 話題提供①愛知県の外国人状況、②「あり方」調査結果 4. 今後の流れ	伊藤浄江、池田昌代、岡部真理子、小野則子、北村祐人、伊藤詩織、酒井美賀、鈴木勝代、松本里美、松本美紀、三上憲一、春日俊夫、伊藤雅絵、近藤公彦、岡部克矢、土井佳彦、河村槿子
2	平成 27 年 7 月 16 日(木) 13:30-16:00	2.5 時間	ウィルあい ち第 1 会議室	16 人	現状共有②	1. 話題提供①ハンドブック、②白書 2. 今後の流れ	伊藤浄江、池田昌代、岡部真理子、小野則子、北村祐人、酒井美賀、鈴木勝代、松本美紀、三上憲一、春日俊夫、伊藤雅絵、近藤公彦、岡部克矢、土井佳彦、河村槿子
3	平成 27 年 9 月 2 日(水) 13:30-16:00	2.5 時間	ウィルあい ち小会議室	12 人	課題共有①	地域日本語教室の活動における課題	伊藤浄江、池田昌代、岡部真理子、小野則子、北村祐人、酒井美賀、鈴木勝代、松本美紀、春日俊夫、伊藤雅絵、近藤公彦、土井佳彦
4	平成 27 年 10 月 1 日(木) 9:30-12:00	2.5 時間	ウィルあい ち小会議室	10 人	課題共有②	地域日本語教室の運営における課題	池田昌代、岡部真理子、北村祐人、伊藤詩織、酒井美賀、鈴木勝代、松本里美、松本美紀、春日俊夫、土井佳彦
5	平成 27 年 11 月 24 日(火) 9:30-12:00	2.5 時間	YWCA ビル 2F	9 人	改善策の検討①	地域日本語教室の活動課題に対する改善策	池田昌代、岡部真理子、酒井美賀、鈴木勝代、松本美紀、春日俊夫、岡部克矢、土井佳彦、河村槿子
6	平成 28 年 2 月 4 日(木) 13:30-16:00	2.5 時間	ウィルあい ち	12 人	改善策の検討②	地域日本語教室の運営課題に対する改善策	池田昌代、岡部真理子、伊藤詩織、酒井美賀、鈴木勝代、松本美紀、春日俊夫、伊藤雅絵、鈴木敬太、岡部克矢、土井佳彦、河村槿子
7	平成 28 年 3 月 2 日(水) 14:30-17:00	2.5 時間	ウィルあい ち小会議室	11 人	改善策 まとめ	地域日本語教室の運営課題に対する改善策(前回の続き)、課題と改善策のまとめ	池田昌代、岡部真理子、北村祐人、伊藤詩織、酒井美賀、鈴木勝代、春日俊夫、鈴木敬太、岡部克矢、土井佳彦、河村槿子

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例①

【第1回 2015年6月25日】

話題提供1について、「ネパール出身の学習者が増えているが、なぜ増えているか背景がわからない」、「英語が堪能な人と、まったく話せない人がいる。ネパール語の翻訳が必要」などの意見が出された。話題提供2について、「日本語ボランティアをしていると、「ちょっとここが知りたい」と思うようになるのが自然。今は、その想いに応える研修がない」、「AIAでスキルアップ研修をしているが、参加者の意識に温度差がある」などの意見が出された。(詳細は別添会議録参照)



取組事例②

【第5回 2015年11月24日】

教材選定については、「活動全体 目的・方針を決める」、「教室で統一した主教材を決める」等、クラス分けについては、「柔軟にクラス移動ができるようにする」、「クラス内でレベル差がある場合、どこにレベルを合わせるかを決めてそれ以下の人に教室時間外で自主学習を促す」などの改善提案が出された。(詳細は別添会議録参照)



(8) 目標の達成状況・成果

・予定の6回を超えて、7回にわたり愛知県内の地域日本語教育コーディネーター等と議論を重ね、県内の課題と改善策について検討・共有することができた。(詳細は別紙会議録参照)

(9) 今後の改善点について

・地域日本語教育コーディネーターとしては、教室の運営面に関する課題認識が主となり、いちボランティア

が感じていると思われる文法の教え方等については、あまり課題として出てこなかったように思う。異なる立場からの意見徴収も必要。

・7回の会議では検討しきれなかった課題や改善策もあるので、来年度以降も継続していくことが重要。

取組2:「子育て世代のための日本語教室」キャラバン隊

1. 知立市

(1) 体制整備に向けた取組の目標

子育て世代(子育て中+関心のある人)の外国人と日本人が、共に子育てに関して必要な日本語及び知識を得られるとともに、隣人とのコミュニティづくりや専門家とのつながり、専門機関の利用方法等について学べる場を提供する。また、ここでのノウハウを各地の日本語ボランティア団体等に提供する。

(2) 取組内容

第1回:オリエンテーション

第2回:子どもの食事を考える

第3回:子どもの健康を考える①～歯について～

第4回:子どもとの関わりを考える～コミュニケーション、母語、絵本の読み聞かせなど～

第5回:子どもの健康を考える②～足について～

第6回:子どもの教育を考える～保育園、幼稚園、小学校の教育など～

第7回:フィールドワーク

第8回:ふりかえり

(3) 対象者

知立市および近隣市町の子育て世代の日本人・外国人

(4) 参加者の総数 23 人※延べ人数ではなく、参加した人数を記

そのうちの日本語学習者数 5 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
0	0	3	0	0	0	0	2	0	0

※その他の国籍と人数:

(5) 開催時間数(回数)

・ 22 時間 (2 時間×7 回 + 8 時間×1 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 8 月 3 日(月) 10:00-12:00	2 時間	知立団地 集会所	1 人	オリエンテーション	・自己紹介 ・子どものよいところ、困っているところ	岡部真理子	河村槇子
2	平成 27 年 8 月 10 日(月) 10:00-12:00	2 時間	知立団地 集会所	0 人	子どもの食事を考える	・日本語とポルトガル語で自己紹介 ・食事で気をつけること	岡部真理子 坂本真理子	河村槇子
3	平成 27 年 8 月 24 日(月) 10:00-12:00	2 時間	知立団地 集会所	3 人	子どもの健康を考える①～歯について～	・子どもの歯について、気をつけること(虫歯予防等)	岡部真理子 中村和子	河村槇子

4	平成 27 年 8 月 31 日(月) 10:00-12:00	2 時間	知立団地 集会所	4 人	子どもとの コミュニケー ション	・子どもとのコミュニケーショ ンの取り方 ・絵本の読み聞かせについて	岡部真理子 小笠原真由 美	河村槇子
5	平成 27 年 9 月 7 日(月) 10:00-12:00	2 時間	知立団地 集会所	2 人	子どもの 健康を考え る②～足に ついて～	・子どもの発育 ・足育体操	岡部真理子 加藤めぐみ	河村槇子
6	平成 27 年 9 月 14 日(月) 10:00-12:00	2 時間	知立団地 集会所	2 人	保育園・幼 稚園の違い	・保育園と幼稚園の違い ・入園前に身に付けたいこと ・園での過ごし方	岡部真理子 北川順子	河村槇子 松田薫
7	平成 27 年 9 月 25 日(金) 9:30-17:30	8 時間	豊田市 中央図書館	1 人	バス・電車 の乗り方、 本の借り方	・知立団地集合→市バスで知 立駅へ→電車で豊田市へ→ 中央図書館で外国語の絵本 探し→借りる手続き→電車・ バスで知立市へ	図書館職員	河村槇子
8	平成 27 年 9 月 28 日(月) 10:00-12:00	2 時間	知立団地 集会所	1 人	ふりかえり	・日本語テスト ・今後の日本語学習法	岡部真理子	河村槇子 松田薫

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例①

【第 1 回 2015 年 8 月 3 日】

10:00～ 今日の流れ説明
 10:15～ 自己紹介
 10:30～ 手遊び歌、子どものよいところ、困ったところ
 11:00～ 歌「幸せなら手を叩こう」
 11:20～ 折り紙
 11:45～ 覚えたい言葉
 11:55～ 次回のお知らせ
 12:00 終了、ふりかえり



取組事例②

【第 3 回 2015 年 8 月 24 日】

10:00～ 今日の流れ説明、ゲスト講師紹介
 10:15～ アイスブレイク
 10:30～ ゲスト講義
 11:15～ 学習シート記入

11:30～ 覚えたい言葉

12:00 終了



(8) 目標の達成状況・成果

・日本語パートナーから、今回の講座への参加をきっかけに自分から挨拶をするようになった、もっと寄り添いたい、という積極的な姿勢に変化したと思われる声が聞かれた。今回の講座の開催の趣旨のひとつに「日本人側の心の壁を払いたい」というのがあったので、日本人にとっても意義のある教室活動の形態であったことがわかった。

(参加者の声)

- ・近所に住んでいるので、これから息子が保育園や小学校に通うようになると、外国人の方たちと関わっていくと思うので、今から親子で外国の方たちに慣れておこうと思い参加しました。
- ・何か子育ての役に立つ知識が得られたらいいと思ったのと、自分が外国人に対して(英語が話せないという苦手意識から)、苦手とってしまうところを直せたらいいと思ったからです。
- ・参加してから、絵本を前よりも手に取る時間が増えた気がします。保育園のお話は、今一番聞きたかったことなので、先生から直接話が聞けて良かったです。
- ・とっても良いと思います。日本人にとっても役に立つ情報だし、外国人の方も、日本での育児に少しは親しみが持てるのではないかと思います。
- ・外国人の方に話しかけるなんて、今までの生活ではまったくなかったのですが、ここで外国人の方と話をしてみても、ゆっくりじっくり話してみれば、大丈夫だとわかって、道で外国時親子を見かけたら、挨拶をするようになりました。
- ・話してみれば、同じ人間だし、他国でお母さんとして育児する大変さにもっと寄り添えたらと思いました。コミュニケーションを取るために、言葉をこちらも積極的に学ぶことは大切だと思います。

(9) 今後の改善点について

- ・日本語パートナーは、これまで外国の人と接する機会があまりなかったり、外国人に対して苦手意識もあったようである。事前の説明会を開くなど、教室参加へのハードルを下げる機会があるとよかったかもしれない。

2. 刈谷市

(1) 体制整備に向けた取組の目標

子育て世代(子育て中+関心のある人)の外国人と日本人が、共に子育てに関して必要な日本語及び知識

を得られるとともに、隣人とのコミュニティづくりや専門家とのつながり、専門機関の利用方法等について学べる場を提供する。また、ここでのノウハウを各地の日本語ボランティア団体等に提供する。

(2) 取組内容

第1回:オリエンテーション、子どもの食事を考える

第2回:子どもの発達を知る

第3回:子どもの健康を考える①～足の育て方と靴選び～

第4回:子どもとの関わりを考える～コミュニケーション、母語、絵本の読み聞かせなど～

第5回:子どもの健康を考える②～足について～

第6回:子どもの教育を考える～保育園、幼稚園、小学校の教育など～

第7回:ふりかえり

(3) 対象者

知立市および近隣市町の子育て世代の日本人・外国人

(4) 参加者の総数 38 人※延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 13 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
8	0	0	0	0	2	1	0	2	0

※その他の国籍と人数:

(5) 開催時間数(回数)

・ 20 時間 (2 時間×全 10 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 10 月 19 日(月) 10:00-12:00	2 時間	刈谷市中央 子育て支援 センター	9 人	オリエンテ ーション、遊 び場を知る	・自己紹介 ・講座概要説明 ・遊び場紹介	岡部真理子	河村槇子
2	平成 27 年 10 月 26 日(月) 10:00-12:00	2 時間	刈谷市中央 子育て支援 センター	8 人	保育園と幼 稚園	・保育園・幼稚園とは? ・質疑応答	岡部真理子 杉本準子 加藤幹雄	河村槇子
3	平成 27 年 11 月 9 日(月) 10:00-12:00	2 時間	刈谷市中央 子育て支援 センター	8 人	足の育て方 と靴選び	・足の仕組み、成長過程 ・正しい靴選び ・靴の履き方	岡部真理子 加藤めぐみ	松田薫
4	平成 27 年 11 月 16 日(月) 10:00-12:00	2 時間	刈谷市中央 子育て支援 センター	7 人	離乳食と幼 児食	・健康センターについて ・離乳食 ・食事のポイント	岡部真理子 星野静子	河村槇子
5	平成 27 年 11 月 23 日(月) 10:00-12:00	2 時間	刈谷市中央 子育て支援 センター	6 人	お母さんの リフレッシュ	・一時保育 ・各種相談機関 ・ファミリーサポートセンター	岡部真理子 鈴木康代 杉浦登喜子	河村槇子
6	平成 27 年 11 月 30 日(月) 10:00-12:00	2 時間	刈谷市中央 子育て支援 センター	8 人	子どもの病 気や事故に 備える	・救急法 ・誤飲した時の対処法 ・家の中の危険	岡部真理子 杉浦登喜子 平岩、神谷	河村槇子 松田薫
7	平成 27 年 12 月 8 日(火) 10:00-12:00	2 時間	刈谷市国際 交流協会 図書室	9 人	子どもとの コミュニケー ション	・絵本の読み聞かせ ・絵本選び	岡部真理子 小笠原真由 美	河村槇子 松田薫

8	平成 27 年 12 月 14 日(月) 10:00-12:00	2 時間	刈谷市中央 子育て支援 センター	6 人	子どものし つけ	・子どもの行動と理由の関係 ・褒め方のポイント	岡部真理子 河野弓子	河村槇子
9	平成 27 年 12 月 21 日(月) 10:00-12:00	2 時間	刈谷市中央 子育て支援 センター	8 人	丈夫な歯 を育てよう	・子どもの歯について (歯磨き、虫歯) ・健康な口の育て方	岡部真理子 中村和子	河村槇子
10	平成 28 年 2 月 23 日(火) 10:00-12:00	2 時間	刈谷市北部 子育て支援 センター	6 人	フィールド ワーク	・手遊び歌 ・紙芝居 ・エプロンシアター	岡部真理子	河村槇子

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例①

【第 2 回 2015 年 10 月 26 日】

10:00～ 今日の流れ説明、自己紹介
10:15～ 幼稚園・保育園について知りたいことを共有
10:30～ ゲスト講義
11:15～ 質疑応答
11:30～ 覚えたい言葉
11:45～ まとめ、次回のお知らせ
12:00 終了



取組事例②

【第 3 回 2015 年 11 月 9 日】

10:00～ 今日の流れ説明
10:15～ 足の育て方や靴選びについて知りたいことを共有
10:30～ ゲスト講義
11:15～ 質疑応答
11:30～ 覚えたい言葉
11:45～ まとめ、次回のお知らせ
12:00 終了



(8) 目標の達成状況・成果

(参加者の声)

- ・いろいろな日本語を覚えることができた。友達ができた。
- ・新しい友達ができて情報交換をすることができた。とても良かった。
- ・足について、靴選び、救命法、保育園・幼稚園についてのテーマが良かった。
- ・おもちゃの選び方、習い事、親子遊び、兄弟の育て方について、知りたい。
- ・お祭りの時の特別な行事の食事や料理について知りたい。
- ・日本の文化や習慣、歴史について学びたい。

(9) 今後の改善点について

- ・学習者は、学習意欲が高く、日本の生活習慣や子育ての仕方についてだけでなく、子どもの将来的な教育についても高い関心があり、日本の文化や習慣の違いについても学びたがっていたことから、語学力以上に知識や情報の伝達・共有を増やす必要がある。
- ・日本語パートナーも外国人と交流したいと言う気持ちからこの講座に参加してくれていて、日本語のサポートの役割もできているので、今後の継続的な関わりの機会をつくっていきたい。
- ・最後まで参加者の人数をキープできたのは、刈谷市国際交流協会からのこまめな声かけが継続的にされていたことが大きい。今後、他地域で展開する際には、当該地域との連携・協働を欠かさずやっていきたい。

3. 安城市

(1) 体制整備に向けた取組の目標

子育て世代(子育て中+関心のある人)の外国人と日本人が、共に子育てに関して必要な日本語及び知識を得られるとともに、隣人とのコミュニティづくりや専門家とのつながり、専門機関の利用方法等について学べる場を提供する。また、ここでのノウハウを各地の日本語ボランティア団体等に提供する。

(2) 取組内容

第1回:オリエンテーション、子どもの食事を考える

第2回:子どもの発達を知る

第3回:子どもの健康を考える①～歯について～

第4回:子どもとの関わりを考える～コミュニケーション、母語、絵本の読み聞かせなど～

第5回:子どもの健康を考える②～足について～

第6回:子どもの教育を考える～保育園、幼稚園、小学校の教育など～

第7回:ふりかえり

(3) 対象者

知立市および近隣市町の子育て世代の日本人・外国人

(4) 参加者の総数 25 人※延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 5 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
1	0	2	1	0	0	0	0	0	0

※その他の国籍と人数:パキスタン 1

(5) 開催時間数(回数)

・ 22 時間 (2 時間 × 9 回 + 4 時間 × 1 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 11 月 27 日(金) 10:00-12:00	2 時間	安城市民文化センター	0 人	オリエンテーション	・自己紹介 ・講座概要説明	前田稲子	河村槇子
2	平成 27 年 12 月 4 日(金) 10:00-12:00	2 時間	安城市民文化センター	0 人	丈夫な歯を育てよう	・子どもの歯について (歯磨き、虫歯) ・健康な口の育て方	中村和子	河村槇子
3	平成 28 年 1 月 29 日(金) 10:00-12:00	2 時間	安城市民文化センター	3 人	オリエンテーション	・自己紹介 ・講座概要説明 ・パートナーの役割等	岡部真理子	河村槇子 新谷舞子
4	平成 28 年 2 月 5 日(金) 10:00-12:00	2 時間	安城市民文化センター	3 人	子どもの遊び場を知る	・遊びに行ってみたい場所 ・近場で遊びに行けるところ	岡部真理子	河村槇子 新谷舞子
5	平成 28 年 2 月 12 日(金) 10:00-12:00	2 時間	安城市民文化センター	3 人	絵本の持つ力	・絵本の選び方 ・図書カードの利用申請	岡部真理子 市川祐子	河村槇子 新谷舞子
6	平成 28 年 2 月 19 日(金) 10:00-12:00	2 時間	安城市民文化センター	4 人	保育園・幼稚園	・保育園と幼稚園の違い ・入園までに用意するもの ・園での過ごし方	岡部真理子 加藤佳奈 太田美鈴	河村槇子
7	平成 28 年 2 月 26 日(金) 10:00-12:00	2 時間	安城市民文化センター	1 人	足の育て方と靴選び	・足の仕組み、成長過程 ・正しい靴選び ・靴の履き方	岡部真理子 加藤めぐみ	河村槇子
8	平成 28 年 3 月 4 日(金) 10:00-12:00	2 時間	安城市民文化センター	4 人	離乳食、事故予防	・離乳食と幼児食について ・子どもの事故予防	岡部真理子 深津佑美 竹中由美	河村槇子
9	平成 28 年 3 月 11 日(金) 10:00-12:00	2 時間	安城市民文化センター	3 人	子どもの歯について	・丈夫な歯を育てるために	岡部真理子 中村和子	河村槇子
10	平成 28 年 3 月 18 日(金) 10:00-14:00	4 時間	安城市民文化センター	1 人	幼児安全法短期講習	・乳幼児の心肺蘇生法 ・AED の使い方	岡部真理子 横井利津子	河村槇子

(7) 特徴的な活動風景(2~3回分)

取組事例①

【第9回 2016年3月11日】

10:00～ 今日の流れ説明
10:15～ ゲスト講義
11:15～ 質疑応答
11:30～ 覚えたい言葉
12:00 終了



取組事例②

【第10回 2016年3月18日】

10:00～ 今日の流れ説明
10:15～ ゲスト講義
12:00～ 質疑応答、まとめ、アンケート記入
14:00 終了



(8) 目標の達成状況・成果

(参加者の声)

- ・非常によかった。多くの事を学べたし、たくさんの友人を作ることができた。
- ・特に、「子どもの教育」と、「子どもとのコミュニケーション」の内容が、自分にとってためになった。
- ・今後も実施されるなら、「離乳をさせる方法」も取り上げてほしい。
- ・外国人ママとの交流や外国での子育てに興味があったのと、託児付きで学べる講座だったのでよかった。
- ・外国人の母親たちのサポートができてよかった。
- ・安城に住み始めて1年で、知り合いも少なかったなので、子育て中のママさんたちと情報交換や交流しかった。

留学経験があり、日本で暮らす外国人の方の役に立てたことがよかった。

- ・子どもが生まれても参加できるボランティア機会があってよかった。自分も勉強になる内容だった。
- ・テーマにも興味があった。外国の方とも友人にもなれてよかった。
- ・子育ての各テーマが興味深く勉強できてよかった。国際交流に前から関心があり、外国人と知り合いにもなり、言葉の面でお手伝いができてよかった。
- ・費用も掛からず参加しやすかった。

(9) 今後の改善点について

- ・主催者と協力者がともに、事前にもっと外国と日本の子育ての違いを知ってから講座を企画・運営できれば、外国人ママの知りたいことや困っているポイントを理解した上でサポートできたと思う。
- ・講師や日本語パートナーが、必要以上に通訳に頼ってしまう場面も時折見られたので、外国人と簡単な日本語やジェスチャーなどを使ったコミュニケーションのミニレクチャーや練習をする機会を提供するのもよかったかもしれない。

取組3: 日本語教室運営支援ツール開発プロジェクト

(1) 体制整備に向けた取組の目標

地域日本語教室の運営・活動の一助となるツールを収集および新規開発し、各教室関係者(自治体・国際交流協会・ボランティア)と共有する。

(2) 取組内容

日本語教室 Web マップ日本語版

(3) 対象者

県内の日本語教室を探している人(日本人・外国人)

(4) 参加者の総数 2 人※延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 0 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

※その他の国籍と人数:

(5) 開催時間数(回数)

・ 2 時間 (2 時間 × 全 1 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 6 月 5 日(金) 14:00-16:00	2 時間	YWCA ビル 6F	2 人	日本語教室 運営支援ツ ール開発	・日本語教室の所在地を Google マップに表示		

(7) 特徴的な活動風景(2~3回分)

取組事例①

【第 1 回 2015 年 6 月 5 日】

- ・日本語教室運営支援ツール第 1 弾として、地域日本語教室の所在地を Google マップ上に表示する
- ・第 2 弾として、地域の教室でよく使われている教材と、各出版社から出されている最新の教材をウェブサイトに掲載する



(8) 目標の達成状況・成果

- ・愛知県内の日本語教室の位置情報・教室概要を Google マップ上に表示し、検索できるようになった。

(9) 今後の改善点について

- ・位置情報検索および教室概要が日本語のみのため外国語でも検索・表示できるようにする必要がある。
- ・教室概要が文字情報のみのため、写真等を掲載し、より活動イメージがわくようにする。
- ・その他、活動支援につながる支援ツールを随時開発・掲載していく。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

本事業では、コーディネーター的な立場で愛知県内の地域日本語教室の運営に携わる者が中心となってネットワークを形成し、教室活動の現状と課題を整理、および今後の継続発展に向けて主体的に解決策を模索・実施し続け、愛知県全体の地域日本語学習支援に寄与することを目的とする。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

- ・地域日本語教育コーディネーター会議を通じて、愛知県内の地域日本語教室活動・運営におけるさまざまな課題とその背景・要因、それらへの改善策(案)を整理することができた。
- 一方で、それらをウェブサイト上で公開したり、現場の活動改善に利用したりするところまでは年度内に行えなかったため、来年度以降の取組みとしていきたい。
- ・日本語教室については、異なる地域で関係者・協力者を巻き込みながら新たなスタイルの日本語教室を実施できた。「子育て」をテーマに地域の関係者がつながったことが何よりの成果と考えるが、今後の継続展開にむけてさらに関係者とのコミュニケーションを重ねていく必要がある。
- ・日本語教室運営支援ツールについては、予定していた第 1, 2 弾は完成し、ウェブサイトに掲載することができた。来年度以降、各種支援ツールの多言語化等に取り組んでいきたい。

(3) 地域における事業の効果、成果

- ・地域日本語教育コーディネーター会議を通じて、愛知県内の「地域日本語教育コーディネーター(文化庁研修修了者)」が一堂に会し、地域日本語教育の現状・課題・要因等を共有し、改善策を検討する場ができた。
- ・新たに「子育て」をテーマに3地域(知立・刈谷・安城)で日本語教室を開催したことで、子育て中の外国人保護者のニーズを把握することができ、当該地域の関係者とともに、同様の教室の必要性を実感することができた。
- ・日本語教室運営支援ツールについては、開発したところで事業が終了し、利用者の声を拾うところまでいけていないので、今後の広報を通じて利用者数を増やし、利用者の声から改善点をみつけてさらに充実させていく。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果

- ・地域日本語教育コーディネーター会議では、愛知県内の地域日本語教育事業の中心的な担い手となることが期待される「地域日本語教育コーディネーター(文化庁研修修了者)」に加え、主要な公的機関である愛知県(多文化共生推進室)、名古屋市(国際交流課)、(公財)愛知県国際交流協会、(公財)名古屋国際センター、さらには近年、愛知県からの委託を受けて日本語教育事業に取り組んでいる NPO や民間企業とともに関

連事業課題を共有し、改善策を検討することができた。

・日本語教室活動に、在住外国人の「子育て」に直接的・間接的に関わる立場の人（自治体子育て担当部署、保健師、保育園・幼稚園担当、子育て NPO 等）にゲスト講師として参画してもらうことができたことで、講師－学習者間や講師同士が相互につながれた。今後、各講師が日頃の仕事の中で、今まで以上に「外国人保護者」への配慮ある働きかけをしてくれることが期待される。また、日本語パートナーとして子育て中の日本人ママが思っていた以上に多く参加してくれたことで、今後の“ママ友”としての付き合いが継続展開していくものと思われる。

（５）事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・本事業の中で、一般への「周知・広報」を行ったのは取組 2（日本語教室）のみであった。外国人集住地区では思っていた以上に参加者集めに苦慮したが、教室の回数を重ねるにつれて口コミで参加者が増えたことから、今後継続させることが重要であると感じた。

（６）改善点、今後の課題について

・愛知県内の地域日本語教室活動・運営における課題・改善点は別紙（地域日本語教育コーディネーター会議録）にまとめたとおりで、来年度以降、課題改善に取り組む意思のある教室関係者とともに具体的な現場課題の改善を「地域日本語教育コーディネーター」とともに取り組んでいく。

・子育てをテーマにした日本語教室については、日本語力の向上より子育てに関する知識・情報の入手や地域の関係者（行政、公的施設、ママ友等）とのネットワークづくりが重要だと感じたため、文化庁委託事業の活用に縛られることなく、さまざまな財源の中で継続展開を検討したい。

・日本語教室運営支援ツールについては、今年度は主に日本語ボランティアにとって有用なものを作成したため、今後は学習者にとって有用なものも作成していきたい。

（７）その他参考資料

なし